

## 第8回高松市中心市街地活性化協議会

### 開催結果

○日 時 平成21年1月26日（月） 10時30分から12時まで

○場 所 高松丸亀町レッツホール

○出席者 委員18名・オブザーバー9名・傍聴者15名

○開催結果

植木会長が議長となり議事を進行した。

議題1. 中心市街地活性化基本計画掲載事業の変更についてを上程し、古川委員（高松丸亀町まちづくり株式会社専務取締役・高松丸亀町商店街振興組合理事長）より資料に基づき説明を受けた。

変更事業1. 高松丸亀町商店街B街区・C街区小規模連鎖型再開発事業について、B街区における計画敷地、建築、用途の変更、C街区における建築、用途の変更について説明があった。

次に、変更事業2. 地域コミュニティ創出による商店街活性化事業について、実施主体を株式会社高松地産地消から高松丸亀町商店街振興組合に変更すること、食の集積のみによる事業計画から、アート、音楽、教育、情報の集積、物づくり、賑わい交流イベントなどを加えて総合的に実施することとし、具体的な内容について説明があった。



これを受けて、委員からは、イベント企画等についての情報発信の強化、消費者に対する買い物情報の支援、店舗間の情報共有化の構築などについて意見・要望が出された。

これらの意見等に対し、古川委員から、貴重な意見につき、十分に検討のうえ、現在実施中の事業や今後の事業において対応したいとの発言があった。

その後、議長より変更事業1については、軽微な変更として、既に国に届け出ているものであり、追認することとし、2の「地域コミュニティ創出による商店街活性化事業」の変更を了承することについて委員に諮ったところ、全員異議なく承認した。

議題2. 香川大学ミッドプラザについてを上程し、土井委員（香川大学教授）より資料に基づき説明を受けた。

交通ICカードを活用したIT支援型多世代交流まちづくり事業として、基本計画に掲載されている本事業の取り組み状況について説明があった後、平成21年度の事業予定として、①4月に開設するミッド・プラザを大学生の講義・セミナー・サークル

活動や交流の場だけでなく、多世代の交流の場として活用すること。②本年夏に開設予定の高松市コミュニケーション・プラザと連携し、中心市街地に創造的な若手人材を育成するための場づくりを進めること。③交通ICカードを持つ来街者にミッド・プラザを通じて買い物・イベント情報を提供するとともに、来街者個人が持つまち情報や買い物・回遊データを提供してもらうシステムの構築を行い、カード利用者の回遊に係る交通機関の利用状況や消費行動のデータを分析し、交通事業者の公共交通戦略、商業者のマーケティング戦略検討へのフィードバックを図ること等について説明があり、委員に諮ったところ、全員異議なく承認した。

議題3. 中心市街地活性化基本計画フォローアップ報告について、今井高松市まちなか再生課長より資料に基づき説明を受けた。

本報告については、昨年末に国に提出したものであり、その概況として、丸亀町A街区周辺では、売上及び通行量等において事業効果が表れている。

また、丸亀町商店街B街区・C街区の小規模連鎖型再開発事業及び街路整備事業等、基本計画掲載事業は、概ね計画どおりに実施されている。

なお、基本計画の目標達成見通しについては、4つの数値目標（空き店舗率、年間商品販売額推移、通行量、定住人口）において、現状では厳しい数値がでているが、今後とも基本計画掲載事業を積極的に推進していくとともに中央商店街の南部地域の開発が具体化した段階など、必要に応じて、基本計画への事業の追加を検討していくことにより、目標達成可能と見込まれるとの説明があった。

議題4. その他として、常磐興業株式会社の溝渕社長並びに新居副社長より瓦町駅周辺エリア（常磐町低未利用地）再開発計画について資料に基づき説明を受けた。

常磐会館（OPA跡地）敷地利用計画では、14階建てのビルを建設し、1階から3階に商業施設、多目的ホール、仕事プラザ、メディカルモール等を配置し、4階から14階にマンスリーマンション・賃貸マンション並びにホテルを併設する計画について説明を受けた。

